

住民協議会だより

おのえ

第20号

おのえ住民協議会 <小野江町396番地 TEL 0598-56-7506 (午前中のみ)> 2019. 2. 1

おのえ住民協議会 役員推薦・立候補者募集から思うこと

平成31年度、住民協議会の役員候補者を、参画団体の皆さんに依頼をしました。10月末日までに2団体が協力をして、事務局長の推薦をいただきました。しかし、協議会として認定をされるには、代表者が必要となります。

「知らないうちに、こんな事に成って」などと、愚痴を言わなくていい様に、「私も、協力しよう」と、思ってくれませんか。住民自治協議に参加をして、語り合うことが大切です。協議会の発言や行動が、行政や地域に信頼されるのは、多くの人々の支えが有ることです。松阪市の『新しい市政』を活用し、住みよい安全な街を作りたいものです。



総会に向けて参加協力を

今から8年前の、平成23年3月27日小野江まちづくり協議会の設立総会が行われました。基本理念(基本的な考え方)は

- 1) 自分たちの地域は自分たちで守ろう。
- 2) 歴史と文化を継承し、地域を元気にしよう。
- 3) 健康でみんなが支え合うまちにしよう。
- 4) 良い環境で青少年を健やかに育てよう。
- 5) ふれあいと交流で地域の絆を結ぼう。

この理念が、確認されました。

しかし、思うようにならないのが、現実です。協議会には、小野江小学校区内の皆さんに、地域の共働・活動に参画をして頂きたい。協議会の基礎(支え)が無ければ、交付金は支給されなくなります。

3月31日の総会には、参加協力をよろしくお願いします。



お知らせ

平成31年度おのえ住民協議会定期総会

日時：平成31年 3月 31日(日) 10:00~

場所：小野江コミュニティセンター会議室

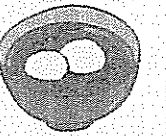
お知らせ

2月24日(日)「武四郎まつり」支援事業

『お休み処』 場所:武四郎誕生地前駐車場

コーンスープ、ぜんざいの販売 10:30~

来てね!



減災コラム その7

備えあれば憂いなし

今回は、政府が実施している2018年中央防災会議について、私なりの感想と考えを述べてみたいと思う。

あいも変わらず行政は、南海トラフで、最大マグニチュード8の地震が発生したなら、最大で津波34m、死者32万人、損害220兆円、負傷者は、はかり知れない数と発表した。

前回の東南海地震が発生してから74年、南海地震から72年が経過している。南海トラフは概ね100年周期で起きていることが知られている。その100年の時期にあと30年弱である。15年前には同地震の発生率、約70%といていたにも関わらず、地震学者等(行政)は未だに地震の予知が出来るとは言わないが、出来ないとも言わない。自分たちの利権にしがみ付かないで、予知が出来ないのなら、その予算で、国民の安全、安心の対策に心血を注いでもらいたい。

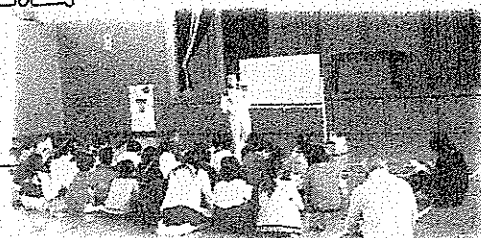
地球の地殻はマントルにより常に動いているので地震は起こる。しかし、いつ何処でどれくらいの地震が起こるか、地震予知は出来ないと思っている地震学者もいるが、その方たちの意見は無視されているのではないだろうか。今だに深海の解明も完全ではないのに、今世紀では地震予知は出来ないと思う。しかし南海トラフ地震は今世紀に99%起こるであろう。

()に、若者(子供)等、その地震に備えた身近な準備をしておくことを知らしめなければならない。なぜ阪神大震災で65歳以上(49,6歳)の方が亡くなったか、それは、1階で生活をしてきたからであろう。私が被災地に入ったとき、2階建てで1階が押しつぶされていた家屋を多く見た。2階で生活されていたらもっと犠牲者が少なかったのでは。机の下では助からない。建物の耐震補強、家具の固定、避難経路の周知、避難所(場所)の確認、家族等との連絡(安否)方法、約一週間分の水、食料等、その季節に合った最小限の衣類、これらを準備しておくことが必要ではないだろうか。生きて、負傷も軽度でなければ、何も出来ないし、してあげることも出来ない。

九州地震、東北大震災はもちろん、阪神大震災等で肉親等、大切な友を亡くされた方は未だに立ち直ることが出来てない方も居ることを忘れてはいけない。とかく人はその時、色々補助してくれるが、今、被災者のことを考えておられる方が、自分を含め居られるだろうか。何事も明日は、わが身に起こるかも知れないと心(準備)しておかなければならない。最後に大地震が起きたならば、行政(政府)の支援は大都市に優先され、地方には向かないだろう。【おのえ住民協議会 安全推進委員 野崎 裕】

10月20日 小野江小学校支援 心肺蘇生法

安全推進委員の野崎さんを講師に、小野江小学校の5年生に心肺蘇生法などの講習会が行われました。その時の感想を一部紹介します。



【村山 美月】

わたしは、1分以内にすれば90%たすかって、5分以上だったら、こういしょうが残る場合があり、10分以上になると、ほぼ助からないということがわかりました。

わたしは、こうやって体験するのが初めてだったけれど、うまくできたのでよかったです。

けど、人形だったからできたけど、本当だったらできないかもしれないから、これからももっと練習していきたいです。

わたしは、将来医者ようにかかわる仕事をしたいので、勉強になりました。学んだことをいかにできるようにしたいです。本当にありがとうございました。

【平川 奏音】

心肺蘇生法をはじめとして、どのぐらいの力を出せばいいのか、どこをすればいいのか、とまどいましたが、できたので、うれしかったです。

今回の心肺蘇生法で、自分の力で人を助けることもできるけど、とまどっていて、時間が過ぎていくと、助かっていたかもしれない命が、助からない可能性もあると改めて、わかりました。

わたしが知らない人や家の人を助けなければいけないときは、あつてほしくないけど、もしこれからそのときがあったら、今回教えてもらった通りに心肺蘇生法をして、助かる命を助けたいです。今回は本当にありがとうございました。

【山本 想来】

心肺蘇生法を教えてください、ありがとうございました。とてもわかりやすく教えてくれたので、すごく勉強になりました。心肺蘇生法は、だれでもできて、かん単なことだと思っていたけど、教えてもらって、すごくむずかしく、たすからない可能性もある、ということがわかりました。

教えてもらった中で一番大切だと思ったのが、たおれている人がだれであろうと、一生けん命です。大切なことなどたくさん知ったし、もし、たおれている人がいたら、教えてもらったことをいかにしたいです。

【稲田 早良】

今日はきちょうな体験をさせていただき、ありがとうございます。

元自衛隊ののさきさんの実際の経験をきかせてもらい、とても勇気のいることがわかりました。

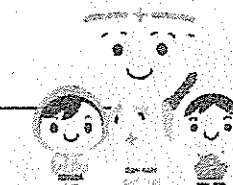
人工こきゅうをしなきゃいけないと思っていたけど、まず1番さきに心肺蘇生法をしなきゃいけないことがわかりました。1分、1秒でもはやくしなきゃいけないことがわかりました。マッサージのしかたも分かったし、始めたら医者とかがくるまでは終わってはいけないということもわかりました。

おばあちゃん、おじいちゃんにも「おふろでは気を付けてね。」と言っておきたいです。

本当に命の大切さや命をつないでいくことをおしえていただき、ありがとうございました。



10月30日 三雲北幼稚園 園外避難訓練支援



『おかげさまの避難訓練』

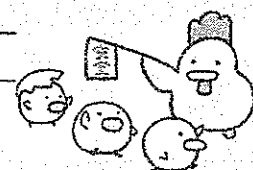
晴天の下、避難訓練を行いました。三雲北幼稚園の年長児25人と、三雲北保育園の年長児30人が、豊田幼稚園まで歩きました。

たくさんの交差点やJRの踏切などを越えるには職員だけでは不安がありましたが、おのえ住民協議会さんから「手伝ってあげるよ。」と、優しく声をかけていただき、避難訓練の補助と誘導をしていただきました。また、住民協議会さんの他に、小野江駐在所の大塚警察官、三雲振興局からも来ていただき、子どもたちの歩くスピードに合わせて、一緒に歩いていただいたり、先回りをして安全を確保して頂いたりしました。

地域の中で、地域の方がたに温かく育てていただいていることを感じ、子どもたちには、この温かさを次の子どもたちへつなげていける人になってほしいと思います。勿論、おかげさまで避難訓練は無事に実施でき、子どもたちもたくさんの人々に見守られて、安心した笑顔がたくさん咲きました。

【三雲北幼稚園 園長 金子 美季】

10月からの活動報告



交通安全啓発運動

隔月（奇数月）に1回、7:30ごろから、小野江駐在所前、小野江小学校東門を出たすぐの交差点、地下道入り口・出口付近などを中心に、子どもたちの通学時間帯に合わせて、部会ごとに交代で立っています。

朝は、出勤等で自動車の通行量も多く、またスピードがかなり出ている車も見受けられます。普段からゆとりをもって、交通安全に心がけていただきたいと思います。



北海道胆振東部地震災害への義援金について

おのえきずなまつり等の募金で、北海道胆振東部地震の義援金が28,246円集まりました。日本赤十字社を通して、被災地へ届けさせていただきました。ご協力ありがとうございました。